

ご挨拶



大会会長 工藤善己

第44回全国少年少女躰道優勝大会並びに第41回全国高校生躰道優勝大会が、世界遺産に登録されている霊峰『富士山』を望む山梨県甲府市において開催されますことに、山梨県のスポーツ関係団体をはじめとする、山梨県躰道協会並びに協力県躰道協会関係者の皆様には、会場準備や大会スタッフと多大なるご支援ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。大会実行委員会役員一同、心より感謝と御礼を申し上げます。

2020年には、新型コロナウイルス感染症の流行により、世界中が混乱に陥り、1年間様々な活動が中止・延期・禁止と今まで体験したことのないことを経験しました。しかし、日本躰道協会は2年目から躰道の理念に基づいた綿密なコロナ対策を講じながら、活動を再開してまいりました。各大会も感染症対策を徹底し、リモート大会やマスク着用での開催など新たな形式を模索しながら行われました。ようやく昨年、新型コロナウイルス感染症への対応が世界的にも緩和され、国内での競技大会もコロナ対策の撤廃が進み、日常生活が通常の様式に戻りつつあります。今大会から通常の大会運営にて開催されますことに、とても感謝しております。

現在、世界は核戦争勃発の危機に直面しています。世界各地で破壊と殺戮が繰り返され、弱者が犠牲になっています。躰道の創始者祝嶺正献最高師範は、第二次世界大戦の体験をもとに、世界各国が調和と創造の中で主体性を持ち、世界に貢献することで人類の平和と世界平和が実現すると確信し、躰道が創り出されました。私たちはこの戦争の早い終結と地球の平和の実現を願っております。

選手の皆さんには、試合に負けた場合でも次の目標を見つけ、相手に感謝する心を持って取り組んでいただきたいと思います。勝利した場合も、共に戦った相手への感謝の気持ちを忘れずに、仲間との絆を深め、夏休みの思い出に残るような時間を過ごしていただきたいと思います。

最後に、選手の保護者の皆様をはじめとする多くの関係者の皆様に、日ごろから躰道の普及と発展にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。皆様方のご繁栄と青少年の健全な育成が推進されることを心から祈念し、大会のご挨拶とさせていただきます。